



令和7年度

第13号

# 吉松小学校だより

10月10日

文責：吉田誠

## 【6年生】吉住区長と語ろう！「吉松のまち活性化プロジェクト」

10月7日(火)に、6年生は総合的な学習の時間に「吉松のまち活性化プロジェクト」の学習を行いました。ゲストティーチャーとして、北区役所から、区長の吉住和征様、区民部長の岡本智美様、植木まちづくりセンター所長の林伸俊様、参事の中村公哉様にお越しいただきました。また、地域からは、吉松校区自治協議会会長の橋本広一様、吉松小PTA会長の吉岡伊信様にお越しいただきました。今回は、7つのグループが自分たちのアイデアを発表し、ゲストの方々に意見をうかがいました。吉住区長様は、子どもたちのアイデアを「素晴らしい。」と褒めていただきました。また、橋本自治協議会会長様からも「協力できることは、ぜひやっていきたい。」とのお言葉をいただきました。すぐに実現させることは難しいものが多いかもしれませんが、地域のために真剣に考えることが、未来につながるのだと思います。

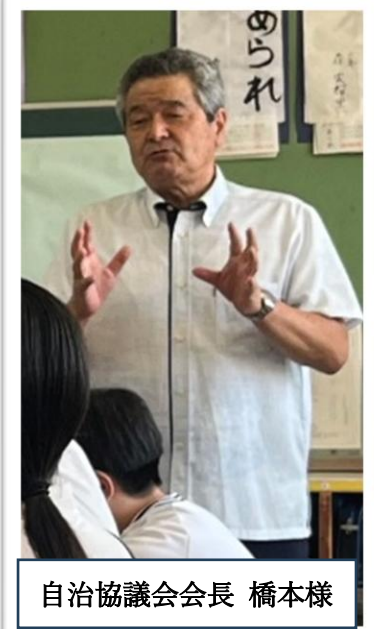


北区区長 吉住様



### 今回発表したグループ

- ・公園チーム
- ・お店チーム
- ・宣伝チーム
- ・スポGOMIチーム
- ・ビオトープチーム
- ・お菓子チーム
- ・スタンプラリーチーム



自治協議会会長 橋本様



## 【ともだち3組（1年生）】道徳の学習

「ありがとうがいっぱい」という教材をもとに、身近でお世話になっている人の存在に気付き、感謝の気持ちを伝える意欲もつことをねらいとして、学習を進めました。誰に、どんな方法で伝えるのかを自分で考えました。「いつも迎えに来てくれるお母さんに、手紙でありがとうを伝える」と自分で決め、タブレットで手紙をつくり、実際に渡すことができました。1年生として半年が経ちましたが、1学期はあまり使えなかったタブレットも、今ではとても上手に活用することができるようになりました。

感謝の気持ちを伝えることで、伝えられた側・伝える側の両方が温かい気持ちになることが分かったと思います。今後も「ありがとう」の輪が広がっていくといいですね！



## 【4年生】障がい者サポーター学習会

10月6日（月）に、【熊本市障がい者相談支援センター チャレンジ】から松川様、人見様、【熊本市高齢者支援センター ささえりあ植木】から中尾様に、4年生の学習にきていただきました。「障がい」について、パラリンピアンについて、ユニバーサルデザインについて等、専門的な立場からたくさんのお話をいただきました。後半は体験的な学習も行いました。みんなの幸せが実現できる社会をつくるために、とても大切な視点を学ぶことができました。

手話で、「こんにちは」は、こうやります。



障がいとは何だろう？



ドイツのマルクス・レーム選手は、義足をはめて走り幅跳びをし、8m72cmの記録を出したそうです。パリパラリンピックで金メダルも取られています。すごいですね！

